

Ji4pe.Tokyo  
<https://ji4pe.tokyo/course-c.html>  
PE Expert C Course

Japanese Institute for Public Engagement

一般社団法人 医療開発基盤研究所 &lt;PharmaTrain Centre of Excellence (CoE)認定&gt; 主催

製薬医学専門家育成のための国際認定教育コース  
- モジュール1 (創薬と開発計画の基礎) 開講 -

## 【開催案内】

- ・ 日 時: 2023年4月4日～5月31日、午後6時半～8時(90分)
- ・ 場 所: オンライン(Zoom会議)
- ・ 定 員: なし
- ・ 参加費: 税込22,000円(内訳: 参加費11,000円、受講手数料11,000円)  
\* 全6モジュール受講者には割引あり(お問い合わせ: [info@ji4pe.tokyo](mailto:info@ji4pe.tokyo))

## 【教育コースの概要】

製薬医学(Pharmaceutical Medicine)とは、患者のベネフィットと社会の健康のために医薬品の創薬から市販後にいたるまでのプロセスを考える医科学の専門領域です。近年の医療ニーズの変化や多様化を反映して新薬開発にも様々な業種からの参入が相次いで、医療機器とのコンビネーションや再生医療、アプリやVirtual Reality等のICTを利用した治療戦略などが活況を呈しています。また、患者中心の医薬品開発への期待から、開発から市販後までの各段階で患者と市民の参画を推進する動きもあり、これらの新プレーヤーに対する教育研修の機会提供は製薬医学の普及啓発に最も重要です。

製薬医学のプロフェッショナルを育成するために教育研修は欠かせません。EUのInnovative Medicines Initiative (IMI)事業として誕生したPharmaTrainプロジェクトでは国際製薬医学会(IFAPP)と共に世界各国の教育コースの標準化を推進し、基準に適合した施設やコースを認定しています。

当法人では2020年8月より、コンピテンシー評価に基づくPharmaTrainの国際認定人材育成(SMDプログラム)を開始し、その前提となる製薬医学の基礎知識をオンラインで提供しています。2022年12月には当法人がPharmaTrainによりCentre of Excellence (CoE)として認定され、本コースに認定証が授与されました。国際標準の教育をオンラインで学び、録画の利活用で予習復習もできる利便性の高い学習コースです。

## 【プログラム】

全6モジュールのうち、4月よりモジュール1(創薬と開発計画の基礎)を開講します(参考: 来年3月までにモジュール6までを順次開講し、全モジュールで基準達成者には修了証書を発行)。

\* 講師プロフィール、全6モジュールの内容はこちら: <https://ji4pe.tokyo/course-c.html>

開催日程は変更となる可能性があります。

## 【参加申込】

- ・ 下記URLの参加申請書ページからお申し込みください(開講期間中、随時受付):  
<https://ji4pe.tokyo/subscription-c/index.html>
- ・ 参加費の入金確認後、参加用のURL(Zoom)をご登録のメールアドレスに送信します。講義資料は事前に共有フォルダからダウンロードできます。
- ・ 受講証明書の発行は4時間以上の受講及び受講後ミニテスト・アンケートへの回答が要件となります。

【お問い合わせ先】一般社団法人医療開発基盤研究所(JI4PE)事務局

Email: [Info@ji4pe.tokyo](mailto:Info@ji4pe.tokyo) URL: <https://ji4pe.tokyo/index.html>

	SECTION 1. 創薬	日程	講師
1.1	共同研究(産学連携等)を含む研究の戦略と組織体制	2023/4/4	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
1.2	疾患モデル;ターゲットの認識、評価、選択	2023/4/6	大分大学臨床薬理学 特任教授 松岡茂
1.3	受容体に基づく取り組み:アゴニスト、アンタゴニスト、酵素阻害剤;ジェミクス、 プロテオミクス	2023/4/10	大分大学臨床薬理学 特任講師 土川博史
1.4	その他の治療アプローチ:和漢医薬、薬剤結合型機器、先進医療例:遺伝子 治療、細胞療法、組織工学	2023/4/14	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
1.6	新規化合物のイン・シリコ、イン・ビトロおよびイン・ビボでの試験	2023/4/18	大分大学臨床薬理学 特任教授 松岡茂
1.5	更なる開発に向けたHitからリード、リード品目の最適化と開発候補の選択	2023/4/20	大分大学臨床薬理学 特任講師 土川博史
1.7	トランスレーショナルメディシンの基礎	2023/4/24	大分大学薬理学 助教 赤嶺孝祐
1.8	動物とヒトの薬理学、分子生物学、生理学的な関係 例:バイオマーカー、機能的 イメージング、モデリング、シミュレーション	2023/4/26	大分大学薬理学 助教 赤嶺孝祐

	SECTION 2. 医薬品開発:計画	日程	講師
2.1	企業および国際的なレベルでの新薬の包括的開発に必要な要素と機能	2023/5/9	荒波史
2.2	品質マネジメント計画	2023/5/11	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.3	プロジェクト管理の手法:TPPとTPCから申請に至るまでの開発計画、 プロジェクトチーム、ツール、意思決定の中心的役割	2023/5/15	荒波史
2.4	特殊集団(例:高齢者、小児、希少疾患患者、禁治産者)に対するプログラ ムの計画	2023/5/19	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.5	途上国における開発プログラム	2023/5/23	荒波史
2.6	ライセンス・インアウトを含めたR&Dのポートフォリオ計画(事業開発)	2023/5/25	荒波史
2.7	リソース計画:予算化、経費管理	2023/5/29	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.8	医薬品開発に関する企業財務:財務管理、投資利益率、固定資産、予算、 会計、収益	2023/5/31	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音

(2/2ページ)

